



知っておきたい病気・医療

「アナフィラキシー」

アナフィラキシーって何？ 体で何が起きているの？

～原因と対処法を知ろう～



原因となる物質はさまざま 万々に備えて知識を持とう

新型コロナウイルスのワクチン接種を機に、よく聞かれるようになった言葉の1つが「アナフィラキシー」でしょう。「重症化すると命に関わる可能性があるので怖い」というイメージがありますが、体の中では何が起きているのでしょうか。帝京大学ちば総合医療センター 第三内科（呼吸器）の山口正雄教授に伺いました。

Adviser



帝京大学ちば総合医療センター
第三内科（呼吸器）教授

山口正雄 さん

医学博士。東京大学医学部卒。同大学物療内科、米国ボストンBeth Israel Hospital、東京大学アレルギー・リウマチ内科、帝京大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー学を経て、2020年より帝京大学ちば総合医療センター第三内科（呼吸器）教授。専門は呼吸器・アレルギー学。

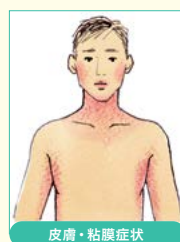
複数の臓器や全身に 短時間でアレルギー症状を発症

アナフィラキシーとは、アレルゲン（アレルギーの原因物質）が体内に入ることによって、短時間のうちに、複数の臓器や全身にアレルギー症状が現れ、過敏な反応を示すことです。重症化すると、血圧の低下や意識障害、失神などを伴い、すぐに治療をしないと生命に危険が及ぶ「アナフィラキシーショック」に陥る可能性があります。

日本アレルギー学会『アナフィラキシーガイドライン』によると、以下の3項目のうち、いずれかに該当した場合に、アナフィラキシーと診断されます。

1 皮膚（発疹、じんましん、赤み、かゆみなど）や粘膜（唇や舌の腫れ・むくみなど）の症状が数分から数時間の経過で速やかに現れ、さらに呼吸器症状（息切れ、呼吸するとゼーゼーヒューヒューという音がするなど）あるいは循環器症状（血圧低下、意識障害など）のうち少なくとも1つの症状がある。

以下のうち、少なくとも1つ以上の症状がある



皮膚・粘膜症状



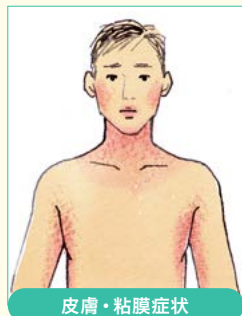
呼吸器症状



循環器症状

2 アレルゲンと疑われるものが体内に入った後、数分から数時間以内に、皮膚・粘膜症状、呼吸器症状、循環器症状、持続する消化器症状（激しい腹痛や嘔吐など）のうち2つ以上の症状がある。

以下のうち、2つ以上の症状がある



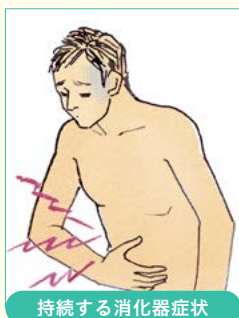
皮膚・粘膜症状



呼吸器症状



循環器症状



持続する消化器症状

3 既にアレルゲンとわかっているものが体内に入った後、数分から数時間以内に血圧が低下する。

アナフィラキシーの主な原因は？

■ 食べ物

卵、牛乳、小麦、そば、ナッツ類、果物、大豆、甲殻類、魚類などを摂取したときに起こる食物アレルギーによって、アナフィラキシーが生じることがあります。魚介類に寄生するアニサキスも、アナフィラキシーの原因として報告されています。

アレルギーの原因となる食品を食べた後に運動をすることで生じる「食物依存性運動誘発アナフィラキシー」のように、二次的要素が加わることでアナフィラキシーの症状が出る場合もあります。

■ 医薬品

薬もアレルギーの原因になります。薬疹やくしんと呼ばれる

皮膚の発疹が最も多く見られますが、アナフィラキシーが起こる場合もあります。また、新型コロナウイルスのワクチン接種でも、頻度は稀ですがアナフィラキシーが発生しています。

■ 蜂毒や虫刺され

蜂に刺されることで、アレルギー反応やアナフィラキシーショックを起こす危険があります。ダニ、アリ、ムカデなどによる虫刺されが原因となる場合もあります。さらに、調理粉製品の中で繁殖したダニによってアレルギー反応を起こし、アナフィラキシーを発症する場合があります。開封した調理粉類は冷蔵保存し、早めに使い切りましょう。

■ ラテックス

天然ゴムの原材料であるラテックスに含まれるたんぱく質に反応して、アナフィラキシーを発症する場合があります。また、ラテックスアレルギーの人は、栗やバナナ、アボカド、キウイなどの果物を摂取することによってアナフィラキシーを起こす場合があります。

誰にでも起こるアナフィラキシー 万一の場合の対処法

アナフィラキシーは原因物質を避けることで予防できます。しかし、原因がはっきりしない場合も多いため、いつどのように発症するか予測することが難しい場面も多く見受けられます。過去にアナフィラキシーを起こしたことがある人は、アドレナリン自己注射剤を処方してもらい、万一に備えて携帯すると良いでしょう。

もし身近な人のアナフィラキシーの症状に気がついたら、すぐに周囲の人に声をかけ、救助に協力してもらいましょう。救急車も速やかに呼びます。

アナフィラキシーを起こしている人を仰向けに寝かせて、両足を15～30cmくらいの高さに上げます。吐き気や嘔吐がある場合は、顔と体を横に向けます。急に起き上がると失神を起こす危険があるので、本人が起き上がろうとしても制止しましょう。

アナフィラキシーの症状は複数の臓器に生じます。どの診療科を受診すれば良いのかわからない場合に備えて、地域のアレルギー疾患拠点病院を事前に調べておくとう良いでしょう。

